

渡部かずふみ 議会だより

創刊号 2007年7月10日



発行 渡部かずふみ後援会
沼津市宮本140
電話 055-924-7283
Fax 055-924-6186
発行責任者 山本一彰
編集責任者 杉山 徹

6月定例会でこども医療費助成制度の新設を迫る

第1回(6月)定例会 会期 2006年6月11日(月)~6月28日(木)



初めての一般質問に立つ渡部議員

第1回(6月)定例会では、議員発議4件、当局議案35件を審議し、原案通り決しました。今回は全議員の半数を占める17人(内新人議員が7人)が一般質問に立ちました。なお、静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われました。

渡部議員は一般質問で、「こども医療費助成制度の導入に向けた取り組み」、「小中学校を取り巻く情報公開のあり方」、「技能五輪国際大会の成功に向けた施策と市を挙げての環境美化」などを質問し、政策提言しました。

行動する渡部議員 与えられたチャンスを活かし 市民の負託に応えます

新人議員ながら多くの仕事(担務)をいただきました

1、議会会派は「市民クラブ」に所属

議員活動のスタートにあたり所属する会派は議会活動の基盤となる大変に重要な選択となります。渡部議員は労働組合出身の議員であることから連合推薦議員5人で構成する「市民クラブ」に所属することになりました。また、政策集団である「政策研究有志議員懇話会(有志の会)」にも加入しました。

2、第1回臨時会にて所属委員会が決定

5月25日(金)から30日(水)までの会期で開催された第1回臨時会(詳しくは3ページを参照)において、議長・副議長を選出するとともに、地方自治法の改正に伴い新たに設置された2つの常任委員会を含めた6つの常任委員会の委員長・副委員長も選出しました。

渡部議員は、生活環境部、市民福祉部および市立病院の所轄に属する事項を担務する「民生病院委員会(8人構成)」と、特別会計および企業会計の予算および決算を担務する「特別会計企業会計予算決算委員会(17人構成)」の2つの常任委員会に所属することになりました。

3、沼津市都市計画審議委員他の仕事も担務

渡部議員は、市長の諮問機関である「沼津市都市計画審議委員」に委嘱され、未来の沼津市のあり方を議論する場へ参画する機会を得ることが出来ました。また、議長の要請により新たに設置された「議会だより編集委員会」の初代議会だより編集委員に任命され、議会の動向を市民に分かりやすく広報する仕事に携わることになりました。さらに、民生病院委員会より選任される「伊豆市沼津市衛生施設組合議員(伊豆市、沼津市双方から4人を選出)」にも就任することになりました。

<初議会を終えた渡部議員の印象と新たな決意>

第1回臨時会、第1回(6月)定例会を初体験させていただき、正直、緊張の連続でしたが、市民の代表として負託に応えなければならないという思いがさらに深まりました。今後は初心を忘れることなく、主役である市民の皆様との対話を重視し、笑顔の輝く街づくりに邁進いたす所存でございます。

第1回定例会の議事内容

発議第2、3号 前議長、前副議長に対する感謝状の贈呈
 発議第4号 永年勤続議員に対する感謝状の贈呈
 報第6、7号 専決処分の報告
 (学校事故損害賠償額の決定)(損害賠償額の決定)
 報第8、9号 継続費繰越計算書の報告
 (平成18年度沼津市一般会計)(平成18年度沼津市市街地再開発事業特別会計)
 報第10、12、13、14号 繰越明許費繰越計算書の報告
 (平成18年度沼津市一般会計)(平成18年度沼津市国民健康保険事業特別会計)(平成18年度沼津市土地取得事業特別会計)(平成18年度沼津市介護保険事業特別会計)
 報第11号 事故繰越し繰越計算書の報告
 (平成18年度沼津市一般会計)
 報第15号 予算繰越計算書の報告
 (平成18年度沼津市下水道事業会計)
 議第43号 市道路線の認定
 議第44号 市道路線の変更
 議第45号 損害賠償の額を定めること
 議第46号 退職手当の額を定めること(前水道事業管理者)
 議第47号 沼津市教育職員の退職年金及び退職一時金に関する条例の一部改正

議第48号 沼津市行政財産の目的外使用に関する条例の一部改正
 議第49号 沼津市中心身障害児就学指導委員会条例の一部改正
 議第50号 沼津市立知的障害児施設条例の一部改正
 議第51号 沼津夜間救急医療センター条例の一部改正
 議第52号 沼津市営住宅条例の一部改正
 議第53号 沼津市消防賞じゆつ金及び殉職者特別賞じゆつ金条例の一部改正
 議第54号 沼津市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
 議第55号 沼津市健康福祉プラザ条例の制定
 議第56号 東駿河湾広域都市計画事業静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業施行条例の制定
 議第57号 平成19年度沼津市一般会計補正予算(第1回)
 議第58号 平成19年度沼津市病院事業会計補正予算(第1回)
 議第59号 平成19年度沼津市水道事業会計補正予算(第1回)
 議第60号 平成19年度沼津市下水道事業会計補正予算(第1回)
 議第61号 製造請負契約の締結(はしご付消防ポンプ自動車製造)
 議第62、63、64、65号 工事請負契約の締結
 (沼津市立北部保育所建築主体工事)(沼津市立沼津高等学校・中等部屋内運動場建築主体工事)(沼津市立大岡小学校校舎建築主体工事)(沼津市立第五中学校屋内運動場・(仮称)第五地区センター建築主体工事)
 議第66号 平成19年度沼津市一般会計補正予算(第2回)
 議第67号 平成19年度沼津市温泉施設事業特別会計補正予算(第1回)
 発議第5号 日豪経済連携協定交渉に関する意見書

富士山が世界遺産候補に正式登録！環境保全が課題！

2007年6月にニュージーランドで開催された「ユネスコ世界遺産委員会」において、静岡県
 のシンボルであり、日本を代表する「富士山」が暫定リストに登載され、世界遺産候補に正式
 登録されました。日本一の高さを誇り、円すい形の独特の美しさを見せる富士山。古来、日本
 人の信仰の対象であり、絵画や文学の題材となってきました。そして、周囲には多くの文化財
 があり、また湧き水などの自然の恵みをもたらす富士山は、単なる山ではなく、自然と人間が
 創りだした優れた「文化的景観」として、文化的価値が高い山なのです。富士山は、まさに「風
 景の国宝」そのものなのです。

世界遺産への正式登録に向け、改善すべきポイントは環境保全です。心ないゴミ捨てなどで
 環境の変化にさらされている富士山。いつまでも美しい富士山を残していくために環境保全活
 動に皆で積極的に努力しましょう。皆様のご協力をお願いします。

後援会員親睦ボウリング大会のご案内

- <日 時> 2007年9月15日(土) 9時集合、9時半スタート
 - <場 所> ジョイランドボウル香貫(055-931-9110)
 - <会 費> 1,500円/人(マイシューズは200円引き)
 - <方 式> アメリカン方式3Gトータルのハンデ戦
(ジョイランドボウルの推奨する基本ハンデに従い、10ピン~40ピンを付加します)
 - <賞 品> “優勝・準優勝・第3位・飛び賞・ハイゲーム賞”など多数を用意します。
 - <申込先> 渡部かずふみ後援会事務局(富士通労組沼津支部) TEL:055-924-7283、FAX:055-924-6186
- *晩秋にはグランドゴルフ大会を予定しています！



.....切り取り線.....

親睦ボウリング大会参加申込書

締切:2007年8月31日(金)

No	氏名	性別	年齢	現住所	電話番号
(例)	渡部かずふみ	男・女	49	沼津市2248-1 富士通大岡八ツB-212号	090-1412-7447
		男・女			

「第21期沼津市議会の体制が固まる」

第1回臨時会は、平成19年5月25日から平成19年5月30日までの6日間にわたり開催され、当局提出議案5件、議員提出議案1件が審議され、いずれも原案どおり決しました。

(1) 議長・副議長・監査役の選出

議長：杉山 功一、 副議長：浅原 和美、 監査役：井口八千喜

(2) 委員会の構成

：委員長、 ：副委員長

議会運営委員会（9人）

滝口 文昭、 岩崎 英亮、 頼重 秀一、 水口 淳、 斉藤 孝一、
大場 豊重、 深瀬 勝、 山崎 篤、 土屋 春夫

総務経済委員会（9人）

真野 彰一、 和久田光一、 梅沢 弘、 頼重 秀一、 斉藤 孝一、
岩崎 英亮、 伊藤 正彦、 滝口 文昭、 土屋 春夫

文教消防委員会（8人）

野田 久雄、 深瀬 勝、 二村 祥一、 山下富美子、 江本 浩二、
植松 恭一、 城内 務、 田上 博

民生病院委員会（8人）

山崎 篤、 水口 淳、 渡部一二実、 山崎 勝子、 大場 豊重、
浅原 和美、 井口八千喜、 杉山 功一

建設水道委員会（9人）

鈴木 秀郷、 曳田 卓、 渡辺 教二、 殿岡 修、 加藤 元章、
千野慎一郎、 伊山 昭、 井口 哲男、 宮代 義幸

一般会計予算決算委員会（17人）

城内 務、 伊藤 正彦、 渡辺 教二、 二村 祥一、 山下富美子、
殿岡 修、 頼重 秀一、 水口 淳、 山崎 勝子、 和久田光一、
千野慎一郎、 深瀬 勝、 伊山 昭、 山崎 篤、 井口八千喜、
滝口 文昭、 土屋 春夫

特別会計企業会計予算決算委員会（17人）

宮代 義幸、 井口 哲男、 渡部一二実、 梅沢 弘、 江本 浩二、
加藤 元章、 植松 恭一、 斉藤 孝一、 岩崎 英亮、 曳田 卓、
大場 豊重、 浅原 和美、 鈴木 秀郷、 野田 久雄、 真野 彰一、
杉山 功一、 田上 博

議会だより編集委員会（9人）

浅原 和美、 土屋 春夫、 渡辺 教二、 渡部一二実、 江本 浩二、
頼重 秀一、 曳田 卓、 千野慎一郎、 井口 哲男

沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会（13人）*メンバーは省略

第1回臨時会の議事内容



連合推薦議員で組織した会派「市民クラブ」

- 仮議席の指定
- 議長の選挙
- 議席の指定
- 会期の決定
- 副議長の選挙
- 議会運営委員の選任
- 常任委員の選任
- 伊豆市沼津市衛生施設組合議員の選挙
- 報第4、5号 専決処分の報告
 - (道路事故損害賠償額の決定)(交通事故損害賠償額の決定)
- 認第2、3号 専決処分の報告及びその承認
 - (沼津市税賦課徴収架例の一部改正)(平成19年度沼津市老人保健事業特別会計補正予算(第1回))
- 認第4号 監査委員選任の同意
- 常任委員会の閉会中の継続調査
- 議会運営委員会の閉会中の継続調査
- 発議第1号 沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会の設置



6月定例会 渡部かずふみ「一般質問」

1、子供たちを取り巻く課題について

(1) こども医療費助成制度の導入に向けた取り組みについて

「質問」小中学生を抱えている世代は、持ち家を検討する年代また、定住する自治体を選択する年代でもある。定住人口を増加する意味においても「こども医療費助成制度」の導入を検討すべきではないか。

「答弁」現在、本市で運用している「乳幼児医療費助成制度」は平成16年12月に対象者を就学前までに拡大し、さらに所得制限を設けないなど県の補助枠を拡大して実施している。今後、医療費助成については、沼津医師会など関係機関と協議をしながら自己負担の軽減など「乳幼児医療費助成制度」の拡充を検討する一方、「こども医療費助成制度」の導入についても調査研究していく。

(2) 小中学校を取り巻く情報公開のあり方について

「質問」今、子供たちの周りでは、学級崩壊やいじめなどさまざまな課題が山積している。このような課題に適切に対処していくためには、学校関係者だけでなく、PTAをはじめ、地域との連携、協力が不可欠である。スムーズに連携、協力していくためには、今、学校で実際に何が起きているかなど、必要な情報を適時、適切に提供していく必要がある。必要な情報公開がなされない場合には、誤解や曲解が生じ、連携、協力体制に支障が生じることもあり得る。もっと学校の情報を広報する必要があると思うがどうか。

「答弁」子供たちに関する情報については、市教育委員会のほか、各学校がホームページを開設し、様々な情報を掲載している。また、自治会等を通じて地域に「学校だより」を配布するとともに、地域住民の方々に対し、不審者情報など児童生徒の安全に関する情報を速やかに広報しているほか、学校公開の折に児童生徒の日常の様子を見ていただいたり、学校評議員として学校経営に対する意見もいただいている。その他、各学校においてさまざまな手段、方法によって広く情報提供や地域との連携に努力している。他方、いじめや暴力行為などの問題行動等に関する具体的な情報は、その情報が公開されることによって、個人が特定され、教育上支障が生じる恐れがある場合には慎重に対処してきた。また、より良い指導体制のために、必要に応じて警察や青少年を健やかに育てる会などの外部機関と情報を交換し、保護者や子供たちにも事実を知らせ、問題の解決を図る場合もある。何れにしても、学校が抱える様々な課題の解決に向けては、PTAをはじめ、地域の皆様の理解と協力が不可欠であり、今後とも学校に関する情報は、子供たちの人権にも配慮し、可能な限りの情報共有に努め、積極的に地域に開かれた学校づくりを推進していく。

「質問」小中学校の耐震化計画については、ホームページ上でも公表されているが、現時点では計画策定時のものだけである。保護者は安心して子供を学校に通わせる上で、その進捗状況についても関心を持っている。市は、耐震化工事の進捗状況について情報公開していく考えはないのか。

「答弁」本市では、各学校の耐震化計画を平成18年6月に市ホームページで公表した。現在、平成18年度末までの耐震化工事の進捗状況についても掲載したところである。また、各学校における工事の内容等については、これまでと同様に、「学校だより」等で地域の方々や保護者に知らせていく。

2、技能五輪国際大会について

(1) 大会の成功に向けた施策について

「質問」世界大会など大きなイベントが続く中で、大会へ訪れる方々への「心温まるおもてなし」や「楽しい思い出」を持ち帰っていただくことが重要なことから、どのような「おもてなし施策」を計画しているのか。また、市として計画している「おもてなし施策」のための人的リソースの確保は十分なのか。

「答弁」おもてなし施策については、第39回技能五輪国際大会沼津市推進協議会を中心に取り組んでおり、市内の全小・中学校が参加国・地域を応援する1校1国サポート事業、会場と沼津御用邸記念公園、沼津港等と連絡する無料シャトルバスの運行、門池公園・キラメッセめまづ周辺等での「スーパーよさこい踊り子隊フジヤマ組」などによる演舞や太鼓等日本の伝統芸能の披露、さらには、「沼津ガイドブック」の配布など、数々の取り組みを計画している。また、ボランティアなど人的確保については、大会期間中延べ約600人のボランティアが必要である。一般的なボランティアは、門池地区連合自治会、シルバー人材センター、沼津工業高等専門学校など多くの団体・機関の協力により確保が図られつつあるが、現在のところ不足が予想されている語学ボランティアについては、沼津国際交流協会等へ働きかけている。

(2) 市を挙げての環境美化について

「質問」大会を迎えるにあたり、最低限のマナーである環境美化などの施策については、市を挙げた取り組みが必要である。今後、環境美化等について、どのように取り組む計画なのか。

「答弁」大会の開催まで残すところ149日(6月18日現在)となった。大会を成功させるためには、市民と一体となった取り組みが重要である。住みよい沼津をつくる市民運動連絡協議会等、市民、関係団体・機関、企業の連携により、市内一斉清掃をはじめとした「ごきげん環境美化キャンペーン」を実施する。また、市民参画のもと「ごきげん花いっぱいキャンペーン」も実施する。